

地震による電気火災を防ぐために 感震ブレーカーを設置しましょう



令和6年能登半島地震による輪島市内の被害状況（石川県HPから）

令和6年能登半島地震では、電気に起因した火災が発生した可能性があります。マグニチュード7程度の首都直下地震は、今後30年以内に70%の確率で起きると予測されており、命を守るためには対策が必要です。地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーなどの電気を自動的に止める**感震ブレーカー**を設置し、電気火災防止に努めましょう。

分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円（標準的なもの）
※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

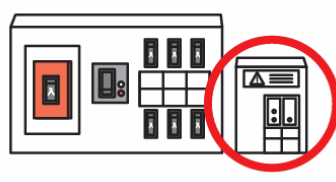


分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



コンセントタイプ

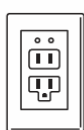
費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

（埋込型）

壁面などに取り付け
て使うもの

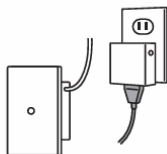
※電気工事が必要



（タップ型）

既存のコンセントに
差し込んで使うもの

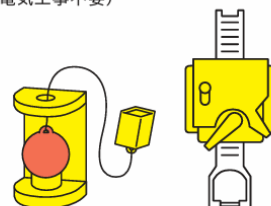
※電気工事が不要



簡易タイプ

費用：約2～4千円程度
※ホームセンターや家電量販店で購入可能
（電気工事不要）

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



おもり玉式

バネ式

